

マーケティング・注視する対象

事業、商品、顧客、市場、社会を含めた全体の形態を知覚する。

下記は対象となる項目を取りだした。

マーケティングは全事業に関わる活動である。全ての部門、機能の活動に関わる。全ての社員がマーケティングの活動をしているはずだ。

